

【本邦における婦人科がんに対する妊孕性温存治療の実態調査】

に対するご協力をお願い

研究代表者 所属 筑波大学附属病院 職名 教授
氏名 佐藤 豊実

このたび、日本産科婦人科学会データベース事業（婦人科腫瘍登録）を用いた下記の医学系研究を、日本産科婦人科学会の許可ならびに筑波大学附属病院の倫理審査委員会の承認のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を診療を受けた施設までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2018 年 1 月 1 日より 2022 年 12 月 31 日までの間に、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんの治療のため、入院・通院し、診療、手術、検査、リハビリなどを受けた方

(婦人科腫瘍登録施設: https://www.jsog.or.jp/facility_program/search_result_facility.php)

2 研究課題名

日本産科婦人科学会の許可番号 158

本邦における婦人科がんに対する妊孕性温存治療の実態調査

3 研究実施機関

筑波大学 医学医療系 産科婦人科学

4 本研究の意義、目的、方法

本研究では、日本産科婦人科学会腫瘍登録を用いたデータベース調査と日本産科婦人科学会腫瘍登録施設へのアンケート調査を併用し、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんに対する妊孕性温存治療の本邦での実施状況を、明らかにすることを目的とする。また本研究の結果成果により、一般市民にむけた妊孕性温存治療実施施設と内容の情報公開ができる可能性がある。

5 協力をお願いする内容

年齢、治療開始日、進行期分類（FIGO 分類および TNM 分類）、組織分類、局所進展、遠隔転移、リンパ節転移、治療内容（手術術式、化学療法内容、放射線治療内容）

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2025 年 12 月 31 日

7 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。
利用開始(予定)日：2024年7月1日

8 プライバシーの保護について

本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものか一切わからない形で日本産科婦人科学会から提供され、使用します。患者さんの情報と個人情報を連結させることはありません。

9 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合は診療のために受診された施設へのご連絡をお願いいたします。

研究分担者

筑波大学 医学医療系 産科婦人科学 講師 志鎌あゆみ

〒305-8575 茨城県つくば市天王台 1-1-1

TEL：029-853-3073

(産婦人科医局 平日日中 9：00～17：00)

FAX：029-853-3072

E-mail：ashikama@md.tsukuba.ac.jp

日本産科婦人科学会事務局

TEL: 03-4330-2864

FAX: 03-4330-2865

Email: nissanfu@jsog.or.jp